

## 目標達成計画

作成日: 2019 年 5 月 14 日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10(6)	直接は意見が言いづらい利用者や家族の気持ちを考慮し、アンケートを実施してその結果を開示するなど、意見が言いやすい環境作りの工夫が望まれる。	家族へアンケートを配布し意見や気持ちをくみ取り、今後のサービスに活かして行く。	家族へはアンケートを配布。ホームへの返信だと遠慮してしまうと思われるので、返信は施設長宛とする。 利用者の意見要望等は職員が聴き取りを行ない職員間で想いを共有する。 結果について職員で話し合いサービスに活かす。	6ヶ月
2	34(12-2)	急変時や自己発生時の対応マニュアルがあり、消防署の講習も受けている。さらに職員がよりの確に不安なく対応できるよう、事業所でも実践的な初期対応のシュミレーション形式の訓練を実施する。	急変時、事故発生時の救急車要請の際に、落ち着いて初期対応ができるように、シュミレーション形式で訓練を行なう。	急変時、事故発生時の応急処置の研修等に参加して職員に周知、実際にシュミレーション行なう。 救急車要請に関しては、急変時、事故発生時から救急要請するまでのシュミレーション訓練を行なう。	12ヶ月
3	35(13)	地震を想定した訓練も実施する。訓練の内容に応じて消防署の立ち合い協力を依頼するなど日頃から消防署等との協力関係を築く。	地震想定避難訓練も今後は取り入れていく。火災とは違う避難誘導となるので、誘導方法や誘導場所について訓練することで身に着ける。	地震時の避難について情報を収集し、適切な誘導方法等を決める。 初回は消防署の立ち合いをお願いする等し、助言をいただき、より良い避難方法となるよう訓練をしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月